

HATS-F-109-V1.1

G3ファクシミリ(V. 34)

相互接続試験実施要領

HATS フォーラム
(高度通信システム相互接続推進会議)
ファクシミリ相互接続試験実施連絡会

G3ファクシミリ(V. 34)相互接続試験実施要領

改定履歴

版	改定年月日	改定内容	担当
1	2018.3.14	改定初版	藤井
1.1	2021.05.27	試験手順、試験結果通知票/事前通知票フォーマットの見直し	青山

本書は、HATS フォーラムが著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を HATS フォーラムの許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

1. 目的	4
2. 特記事項.....	4
3. 試験の対象.....	5
3.1 試験の対象となる端末・システム	5
3.2 試験に利用する網	5
4. 本資料が試験対象とする標準の範囲.....	5
5. 試験の前提条件.....	5
5.1 試験対象以外に準拠すべき標準の範囲	5
5.2 事前確認事項.....	5
5.3 試験の組み合わせ	5
6. 試験項目	6
6.1 必須項目の試験方法(詳細は表1)	6
6.2 オプション項目の試験方法(詳細は表1)	6
7. 試験の手順.....	8
8. 結果の報告.....	8
表1:試験項目	9
表2:試験結果通知票.....	11
表3:事前調査票.....	13

1. 目的

G3ファクシミリについては、国際電気通信連合 (ITU) において標準化が進められ、関連の勧告が承認されている。

V. 34モデム通信については、1996年2月のG3ファクシミリに関する会合において追加され、このモデムを使用するファクシミリに関する試験実施要領は、HATS-F-002-V1. 0で規定されている。

今般、他のファクシミリ相互接続試験実施要領と体裁、試験項目の整合を取り体系的に見直す一環として、本実施要領を制定する。

本実施要領は、各メーカーの製造する製品間での必要最低限の相互接続性を確保するために実施すべき相互接続試験の内容・手順等について規定するものである。

2. 特記事項

HATS-F-002-V1. 0の実施要領で相互接続性試験を実施し合格している会社は、本実施要領において、後述する必須試験項目と、E-1、E-3の項目を合格したものと見做すことが出来る。ただし、前記合格会社についても本実施要領に基づく相互接続試験への参加を推奨する。

3. 試験の対象

3.1 試験の対象となる端末・システム

試験の対象となる端末は、TTC標準 JT-T30/JT-T4のうち、V. 34のモデムを使用し符号化方式としてMMRまたはJBIGを具備するファクシミリである。

3.2 試験に利用する網

公衆電話回線を利用する。

なお、公衆電話回線に接続するインタフェースを有する他の網またはゲートウェイを利用しても良い。

4. 本資料が試験対象とする標準の範囲

本相互接続試験が確認する勧告・標準の範囲は、次の通りとする。

TTC標準 JT-T30/JT-T4のうち、V. 34のモデムを使用して行う通信に係る部分。

5. 試験の前提条件

5.1 試験対象以外に準拠すべき標準の範囲

試験として、試験対象以外に準拠すべき標準は特に定めない。

5.2 事前確認事項

相互接続試験を円滑に実施可能とするため、相互接続試験の参加希望者は、事前に十分な試験を完了しているものとする。

事前試験としては、相互接続試験を行う機器の使用環境を整えたうえで、

・関連する勧告、標準に基づくプロトコルの検証試験

・システム全体の機能確認試験

・相互接続試験を行うのに十分なシステムとしての信頼性の確認試験等が完全に実施されるものとする。

事前の十分な確認試験が実施されたか否かについては、実施者自身の責任に基づく判定によるものとする。

5.3 試験の組み合わせ

試験は3社以上の総当たりで行うこととする。

2回目以降の試験は実施済みの2社以上を含むものとする。

6. 試験項目

試験は必須項目とオプション項目で構成される。

試験では、必須項目は必ず動作を確認しなければならないが、オプション項目は必要とする項目のみ実施することが可能である。

試験を行う際は、V.34 のモデムを使用して全ての通信を行うこととする。

原稿はITU-T T. 24 No. 1チャート(もしくはその拡大版)とし、送信会社名、試験番号を明記する。

試験結果は表2の試験結果通知票に記入する。

6.1 必須項目の試験方法(詳細は表1)

1) 双方で、以下の4項目を行う。

<試験グループA:必須試験>

符号化方式は MMR または JBIG(会社間で協議して決定する)。

- ・試験番号A-1:A4 1ページ(解像度は8×3.85本/mm)の送受信
- ・試験番号A-2:A4 2ページ(解像度は8×3.85本/mm)の送受信

2) 合否の判断

試験グループAの全ての項目を実施する。

判定は、受信側で正常に画像を再現できたことで合格とする。

通信スピードや、ECMの再送信の有無については、問わないものとする。

6.2 オプション項目の試験方法(詳細は表1)

1) 会社間でのオプションの試験項目は以下より選択する。

尚、A4を超える原稿サイズを送受信できる場合には、B-2およびB-3を優先的に選択することを推奨する。

また、試験会社が双方向(送受信)実施可能な試験項目を選択すること。

<試験グループB:精細解像度の通信試験>

符号化方式は MMR または JBIG(会社間で協議して決定する)。

- ・試験番号B-1:A4 1ページ(解像度は8×7.7本/mm)の送受信
- ・試験番号B-2:B4 1ページ(解像度は8×7.7本/mm)の送受信
- ・試験番号B-3:A3 1ページ(解像度は8×7.7本/mm)の送受信

<試験グループC:A4判での異なる符号化方式の通信試験>

原稿はすべてA4 1ページ(解像度は8×7.7本/mm)とする。

- ・試験番号C-1:MMR符号化方式による送受信
- ・試験番号C-2:JBIG符号化方式による送受信

<試験グループD:高精細解像度の通信試験>

符号化方式はMMRまたはJBIG(会社間で協議して決定する)。

- ・試験番号D-1:A4 1ページ(解像度は8×15.4本/mm)の送受信
- ・試験番号D-2:A4 1ページ(解像度は16×15.4本/mm)の送受信
- ・試験番号D-3:B4 1ページ(解像度は8×15.4本/mm)の送受信
- ・試験番号D-4:B4 1ページ(解像度は16×15.4本/mm)の送受信
- ・試験番号D-5:A3 1ページ(解像度は8×15.4本/mm)の送受信
- ・試験番号D-6:A3 1ページ(解像度は16×15.4本/mm)の送受信

<試験グループE:その他の通信試験>

符号化方式はMMRまたはJBIG(会社間で協議して決定する)。

- ・試験番号E-1:A4 1ページ(解像度は8×3.85本/mm)のポーリング送受信
- ・試験番号E-2:主走査A4、副走査がA4定型長の2倍の原稿1ページの送受信
(解像度は8×3.85本/mm)
- ・試験番号E-3:A4 2ページの送受信

解像度は、1ページ目は8×3.85本/mm、2ページ目は8×7.7本/mmとする。

- ・試験番号E-4:解像度は8×3.85本/mmで原稿サイズが異なる2ページの送受信
原稿サイズは、1ページ目はA4、2ページ目はB4とする。

2) 合否の判断

合否は希望した項目のみについて判定する。

判定は、受信側で正常に画像を再現できたことで合格とする。

通信スピードや、ECMの再送信の有無については、問わないものとする。

7. 試験の手順

試験は下記の手順に従い実施することを原則とする。

1. 取りまとめ会社は試験参加社に対して表3の様式で事前調査を行い、調査結果(参加者名簿等)を試験参加社の担当者に配布する。
2. 取りまとめ会社から試験実施場所及び試験開始日時、実施時間割りを試験参加各社の担当者に配布する。
3. 試験参加会社は試験開始前に、交信相手先とオプション項目等について検討しておく。
4. 試験参加会社は割り当てられた時間になったら、事前に通知した送信順に従い、送信を行う。
5. 各社、試験結果について、試験結果通知票に記入して取りまとめ会社に提出する。

8. 結果の報告

試験結果は取りまとめ会社がまとめてファクシミリ相互接続試験実施連絡会に提出する。

通信結果については、通信レートの記入をすること。

以上

表 1: 試験項目

※注 すべての試験項目において、チャートは (ITU-T T. 24 No. 1) もしくはその拡大版とする。

《必須試験項目》

試験番号	A-1	A-2
アイテム	A4標準・1枚	A4標準・2枚
原稿サイズ	A4	
解像度	8×3.85	
符号化方式	MMR/JBIG	
ECM	オン	
副走査長	定型	
連送	1枚	2枚

《オプション試験項目》

任意	B-1	B-2	B-3
アイテム	A4	B4	A3
原稿サイズ	A4	B4	A3
解像度	8×7.7		
符号化方式	MMR/JBIG		
ECM	オン		
副走査長	定型		
連送	1枚		

任意	C-1	C-2
アイテム	MMR	JBIG
原稿サイズ	A4	A4
解像度	8×7.7	8×7.7
符号化方式	MMR	JBIG
ECM	オン	オン
副走査長	定型	定型
連送	1枚	1枚

任意	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6
アイテム	高精細1	高精細2	高精細3	高精細4	高精細5	高精細6
原稿サイズ	A4		B4		A3	
解像度	8×15.4	16×15.4	8×15.4	16×15.4	8×15.4	16×15.4
符号化方式	MMR/JBIG					
ECM	オン					
副走査長	定型					
連送	1枚					

任意	E-1	E-2	E-3	E-4
アイテム	ポーリング	長尺	モード変更(解像度)	モード変更(原稿サイズ)
原稿サイズ	A4			1枚目:A4、2枚目:B4
解像度	8x3.85	1枚目:8x3.85、2枚目:8x7.7		8x3.85
符号化方式	MMR/JBIG			
ECM	オン			
副走査長	定型	長尺	定型	
連送	1枚		2枚	

表 2 : 試験結果通知票

【試験日時】 _____ 月 日 _____ : ~ _____ :

【提出元】 会社名 _____ 試験者 _____
 (提出元電話番号 _____)

【交信先】 会社名 _____ 試験者 _____
 (交信先電話番号 _____)

【試験結果】

《必須試験項目》

送信	試験番号	結果	受信	試験番号	結果
1	A-1	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	1	A-1	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
2	A-2	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	2	A-2	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG

《オプション試験項目》

実施する 実施しない

送信	試験番号	結果	受信	試験番号	結果
1		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	1		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
2		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	2		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
3		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	3		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG

4	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	4	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
5	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	5	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
6	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	6	速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG

送信	試験番号	結果	受信	試験番号	結果
7		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	7		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
8		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	8		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
9		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	9		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG
10		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG	10		速度()bps シンボル() MMR / JBIG PPR = ()回 OK / NG

※不足している場合は、別途、記載願います。

表 3 : 事前調査票

試験に参加される会社は試験に必要な事項を次ページの用紙に記入のうえ、
月 日までに下記宛先まで返送願います。

記

(宛先) [会社名]
[担当者名]
(E-mail) [担当者メールアドレス]

【会社名】 _____
【担当者】 正 所属 _____
電話 _____
氏名 _____
E-mail _____
副 所属 _____
電話 _____
氏名 _____
E-mail _____

【試験電話番号】 _____
【回線の契約情報】 _____ (例) ひかり回線、公衆回線網
(TA 等を利用する場合は、その型番等を含む)

【オプション試験項目】
試験項目数 _____
試験番号 ① _____
② _____
③ _____
④ _____
⑤ _____
⑥ _____
⑦ _____
⑧ _____
⑨ _____
⑩ _____

※不足している場合は、別途、記載願います。

【その他の特記事項】

○試験候補日(または NG 日)、符号化能力(MMR/JBIG)など